うちの学校のこんなトコ 単P紹介 紹介します！

タブレット授業、始まりました！
西区【芳野小学校】

小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度から学習指導要領が全面実施となります。その中で学習の基盤となる資質・能力の一つとして、「情報活用能力」が求められます。今年度4月より芳野は小・中一貫校となり、一人一台ずつタブレットが配置されました。先に述べた情報活用能力を育成する為に有効に活用しているのがタブレットです。芳野小・中の先生方は大変研究熱心で、すべての先生が毎日タブレットや電子黒板を利用した〝分かる授業〟をしようと努力されています。子どもたちのタブレットを使う技術も向上していて、授業参観の度に授業の内容や効率の良さに驚きます。何よりも子どものいきいきとした表情や、先生に積極的に発言したり、子ども同士で質問し合う姿勢を見て、学習に向かう〝やる気〟を感じます。

タブレット授業の感想を聞くと、子どもたちの多くが「勉強が楽しくなった！」「知りたいことをすぐに調べられる。」と答えました。一方、おとなからは不安な声として「情報モラルやルールをしっかり身に付けて欲しい。」という意見が多くありました。

記事を書きながら感じたことがあります。情報モラルやルールについてもですが、まずは家庭の中で、モラルやルールをしっかり伝えていく必要があると自分自身を振り返りました。更に、子どもを育てるのは社会や学校の前に、土台となるのは〝家庭・家族〟であることを忘れず、子どもたちのモデルとなれるおとなになりたいと思います。

（芳野小学校 副会長　西村 由紀）

伝統を繋ぐ
北区【龍田小学校】

龍田小学校は、西に立田山、東に白川を望む県道135号線沿いにあり、校区内の「武蔵塚公園（剣聖宮本武蔵の墓所）」では春の花見や夏の水遊びを楽しむことができます。

平成28年に龍田西小学校と分離した後も600人を超える児童数が在籍し、孔雀のハッピーも加わって、毎日、明るく元気な声が響く学校です。

今年で創立134年となる龍田小では、地域や龍田中、龍田西小と連携し、年間を通して様々な活動を続けています。「ふるさと龍田の夏まつり」「身近な森の音楽会」「どんどや」は校区の3大イベントで、児童はもちろん、先生や保護者も準備の段階から参加して盛り上げます。特に夏まつり前には中学生から小学生へ「龍田音頭（盆踊り）」指導があり、伝統の継承と交流が続いています。

龍田小の運動会、午前中最後のプログラムも全員参加の「龍田音頭（盆踊り）」です。児童と保護者が輪になって踊り、そのままお弁当タイムになるのですが、回を重ねるごとに地域の方も多く参加していただけるようになり大いに賑わうようになりました。

親子3代で龍田小同窓生という家庭もあれば、新しい世帯も多い校区です。学校を中心に、これからも地域の伝統を継承していきたいです。

（龍田小学校 副会長　中西 純子）

錦っ子チアーズのご紹介
東区【錦ケ丘中学校】

本校PTAは、熊本地震のあと、大々的にPTAの組織改革をしました。

困ったときはお互い様の精神で、これまでにあったスタイルではなく、各ご家庭それぞれが「出来るときに、出来る事を」をモットーに、自主的に活動ができるよう、ボランティアスタイルでの活動が行えるような形を作りました。

そのひとつに、「錦っ子チアーズ」という呼び名で活動している団体があります。当時の執行部メンバーの一人が命名をしました。子どもたちの安心安全を見守りたいという気持ちから生まれた団体です。

現在は主に、花植え運動のお手伝いをしています。背景には、当時の校長先生の想いがあります。緑化担当の先生のご指導の下、子どもたちは種を蒔き、苗を育て、ポットに移し、花壇に植えています。それは本当に手間も時間もかかる作業です。登校時や下校時に、水やりをしている子どもたちの姿を見かけます。小さな種が土から芽を出し、やがて花を咲かせる。この過程を子どもたちに触れさせ、生命の尊さに気付いてもらいたいという想いは、私たち保護者も同様にあります。元気のない苗には、「がんばれ」とエールを送りたい気持ちになります。私たち保護者も苗を見守りながら、子育てにも通じるものを感じています。

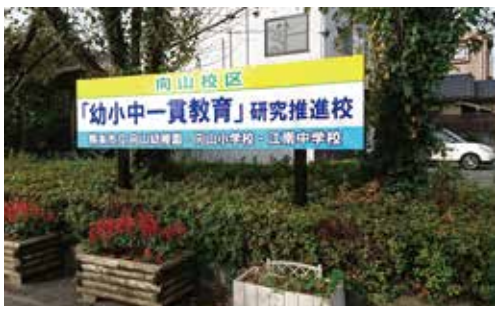
忙しい毎日の中にも、ゆっくり寄りそう心を持つことは大切なことかもしれません。チアーズはまだまだ自分たちに出来ることを考えながら、色々なことに挑戦していきたいと思っています。

（錦ケ丘中学校 副会長　内窪 つかさ）

江南中学校の魅力
中央区【江南中学校】

江南中学校は、国道3号線西側から白川の間の閑静な住宅街に位置し、向山小学校、向山幼稚園と隣接しています。

当校区は、熊本駅が近く、また街からも程よい位置で、マンションの建設が進んでおり、今後子どもたちが増えることに繋がればと期待しています。白川河川敷も近いことから、中学校の駅伝大会や部活の朝練、地域の方々の散歩などに利用されています。また、当校区は、街中心部に近いものの、地域のまとまりが強く、校区夏祭り、校区運動会、校区グリーンクリーン大作戦（清掃活動）、どんどやなどの地域行事を、中学生も含め多くの方々が参加し地域を盛り上げています。また、保護者に当校の卒業生が多いことも地域のまとまりが強い要因となっていると思われます。



江南中学校は、1小1中地区で9年間ほぼ同じメンバーで学び、規模も1年生61人2クラス、2年生78人2クラス、3年生82人2クラスと小規模校のため、お互いを深く知り友情を深めることができるほか、先生や地域の目が行き届きやすい状況となっています。

部活動は、野球、サッカー、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、吹奏楽、美術があり、朝練、夕練、土日の大会、練習試合など先生方の熱心な指導のもと頑張っています。また、クラブ活動でも、水泳、陸上、テニスなどで頑張っている子どもたちもいます。

学校行事への保護者の関わりとしては、バザーのカレー作りや飲食品の販売、白川河川敷での駅伝大会の際のぜんざい振舞いなど、子どもたちのために各種行事へ参加しています。

最近の学校環境の変化としては、今年度、当校に防災用のマンホールトイレができたほか、防災倉庫も設置されており、熊本地震の際に地域の避難所として重要な役割を果たした防災機能が、ますます強化されてきています。

そして、当校区は、先に述べたとおり、1幼稚園、1小学校、1中学校で、以前から幼小中連携ということで、合同顔見知り遠足のほか、相互乗り入れ授業、挨拶活動、先生、保護者も交えた年間スケジュール打ち合わせや意見交換、懇親会など連携を図ってきています。このことから、幼小中一貫教育研究推進校として取り組まれており、来年度は、小中一貫校の制度化としてスタートする予定です。一貫校に向け、学校、保護者、地域を挙げて盛り上がっており、今後も、より一層子どもたちの教育に取り組んでいきたいと思いました。

（江南中学校 副会長　松久保 亮）

杉上小～絆～40th
南区【杉上小学校】

本校は、熊本市南区に位置し学校周囲を田んぼに囲まれ四季折々に移り変わる景色がとても美しい校区です。昭和54年に杉上東小学校と杉上西小学校が統合し現在の杉上小学校となり、今年で開校40周年を迎えました。開校以来培ってきた学校と地域の絆を次の時代へと繋ぎ、そして先生方、保護者、地域の方々が一丸となって大切な子どもたちが、安心、安全に、笑顔いっぱいでより良く育つようにと願い、今年度の杉上小学校PTAスローガンを「絆～輝く笑顔、ともに未来へ～」とかかげました。毎年12月にはふるさと祭りとして、地域の方々と共に昔遊びや餅つきなど、昔ながらの文化に触れながら様々な世代の方々と交流し絆を深めています。

本年度の学校像として「明日も行きたい学校」さらに、学びの深まりを考え「問い」や「たい」が生まれる学校を目指しています。日々の生活の中で「なんでだろう」「どうしてかな」といった「問い」をもち、主体的に「やってみたい」「頑張ってみたい」とやる気をもち、いろんな事にチャレンジしていくことで、子どもたちの学びを深めたいという学校像に我々保護者も連携して子どもたちとともに学び成長しながら、子どもたちとともに笑顔でより良い杉上小学校にしていきたいと思います。

（杉上小学校 副会長　漆畑 温子）

編集後記

師走に入り、皆さまお忙しい日々をお過ごしの事と思います。9月から準備を始めやっとこの131号を発行する事ができました。

今号は市Pバレーをはじめ、プール開放、日P全国大会、単P紹介の内容になっています。たくさんの会員の皆さんに読んでもらえたら幸いです。

（錦ケ丘中学校 会長　田中哲郎）

131号編集委員（順不同／敬称略）

秋吉　孝一（附属小）
荒川　友博（高平台小）
漆畑　温子（杉上小）
上田　優（若葉小）
楠本　良一（豊田小）
坂口　哲人（託麻西小）
佐藤　秀史（五霊中）
中西　純子（龍田小）
西村　由紀（芳野小）
日髙加寿美（富合中）
松久保　亮（江南中）
山田　豊（錦ケ丘中）
松本　知樹（東野中）
福島　隆弘（西原小）
嘉悦奈津子（東部中）